



# 季刊 すまいる



## 上賀茂神社

正式名称は賀茂別雷(かもわけいかづち)神社。京都で最も古い神社の一つで、ユネスコ世界文化遺産に登録。国宝の三間二面社流造の本殿と権殿をはじめ、重要文化財の社殿などが並ぶ。1月5日の「舞楽奉納」、宮中の儀式だった白馬節会が神事化された7日の「白馬奏覧神事」、15日の「御粥神事」など、古来より続くさまざまな祭典が行われる。

## 節分祭 (松尾大社)

節分祭の祭りの後、宮司が豆まきをしながら本殿から拜殿へと移動、追難行事が執り行われる。続いて、拜殿で宮司による「鳴弦破魔弓神事」「四方奉射神事」から、福男・福女による豆まきまで、2回行われる。祭事に先立って午前中には、島根県益田市からの民俗芸能無形文化財「石見神楽」が奉納。

## 小豆粥



桜粥、餅粥とも言われ、アズキなどを入れた粥。平安時代より、小正月(1月15日)に小豆粥を食べると二年間の邪気を払い、万病を除くとされる風習がある。神社や禪寺では今も受け継がれており、なかには神前に供えて年占いをする神社も。妙心寺の塔頭寺院・東林院、上賀茂神社、下鴨神社などではいただくこともできる(有料)。



## 伏見松本酒造

1791(寛政3)年、洛中東山で創業。1923(大正12)年、伏見の現在地へ。当時、建てられた仕込み蔵、レンガ造りの煙突や倉庫などは経済産業省の近代化産業遺産に認定。さらに万暎院と正門が国の登録有形文化財に登録。河岸沿いの重厚な景観は時代劇などの撮影地としても知られる。春の菜の花とのコントラストが印象的。

## 山茶花

凛とした冬の情景に彩りを添える山茶花は、ツバキ科ツバキ属の常緑広葉樹で日本の固有種。約300種もの品種があり、赤、白、ピンクなど多彩な色合いの花が、10月中頃から咲き始め、2月頃まで楽しめる。椿とよく似ているが見分けるコツは花の散り方。1枚ずつ花びらを散らしていれば山茶花と言われる。神光院、神泉苑、等持院など名所は多い。





## 初春の雑感

医療法人啓信会 理事長

中野 博美

新年あけましておめでとうございます。

本年も皆様方にとりまして良い御年になりますようお祈りしております。

さて一昔前の事ですが、日本は財政難から肥大化する医療費の抑制へと急速に向かい始めました。ところが財政重視の医療費削減により医療現場は疲弊し立ち行かなくなりました。その頃ある厚労省局長OBの方が東大大学院に入学され、ある論文をお書きになり、それは「医療費決定のプロセスに国民の声が反映されていない」と言う内容のものでした。後日ある小さな勉強会でその先生のレクチャーを初めてお聞きしました。お話を聞いてみると、何となく政府の財政政策と言うか、財政諮問会議への反論のような気がしましたので、隣のやはり厚労省局長OBの先生にそれを言いましたら、「君、それは失礼だよ！これは真摯な研究論文だ。失礼だよ！」とお叱りを受けてしまいました。ところがその話をお聞きになっていた演者の先生が、「その通り！」と仰ったのです。本来国民(患者)のためにある医療政策が、国民の声を聞かないばかりか財政政策により歪んだ形で進められている状況に、医療を所管する役所の一員として我慢できなかつたということでした。しかし案の定その後の十数年の医療施設の経営状況を見ますと確実に悪化して行つたのです。

日本医師会横倉義武会長は、去る二〇一六年二月二二日の経済財政諮問会議後の記者会見を受けて声明を発表されました。それは以下のようなものでした。「経済学の宇沢弘文先生は、二〇一〇年の著書『社会的共通資本としての医療を考える』の中で、「医を経済に合わせるのではなく、経済を医に合わせるのが、社会的共通資本としての医療を考えるときの基本的視点である」と述べ

ています。さらに、『政府』の役割はあくまでも、これらの医療機関が供給する医療サービスが、医学的な観点から最適なものであり、かつ社会的な観点から公正なものであり、さらに経済的な観点から効率的となるような制度的、財政的措置を講ずることであつて、医療の実質的内容に立ち入つて、介入しないし管理は決して行なつてはならない」とされ、社会的共通資本としての医療制度は、「国家官僚によつて、国家の統治機構の一環としてつくりられ、管理されるものであつてはならないし、また儲けを基準とする市場的メカニズムに任せらるものであつてはならない。それはあくまでも、医療に関わる職業的専門家が中心になり、医学に関わる科学的知見にもとづき、医療に関わる職業的規律・倫理に忠実なものでなければならない」と述べており、まさに宇沢先生が警鐘を鳴らした通りです。医療に対する経済の論理を強めてはなりません。国民に必要な医療を提供するには、財政の立場のみで議論することは言語道断です。日本の医療を誤つた方向へ導いてはなりません。」と云うものであります。

日本の医療は西洋医学の導入以来、病気の治療を大きくクローズアップして今日に至つています。他方、東洋医学の思想には「生(生まれる)・老(老いる)・病(病む)・死(死ぬる)」を一連のものと捉え、人生を支えることが医療の役目であるとされています。病気の治療は一部分であり、役目の範囲としてはまだまだ成長しなくてはいけないのであります。日本の医療はやや鋭角的に成長しすぎたためか、全体として隙間の多い構造になつているのであろう。隙間を融合させ公平で効率的な、生産性の高いシステムに最適化する必要があるのかも知れない。



# 新年のごあいさつ

医療法人啓信会 京都きつ川病院 院長 中川 雅生

新年明けましておめでとうございます。本年が、皆様にとりまして明るく希望に満ちた幸多き年となりますようお祈り申し上げます。

昨年五月に平成から令和と元号が変わり、令和の最初のお正月を迎えました。皆様、いかがお過ごしになりましたでしょうか。お休みを利用して旅行に行かれた方、お家でゆっくり寝正月を決めました方、家にはいたけれど千客万来で大忙しだったとおっしゃる方、仕事で休むどころではなかった方、様々だと思います。しかし、過ごし方は様々であっても、ほとんどの方が、お正月の朝にはお雑煮で新年のお祝いをされたことと存じます。それくらいお雑煮は日本のお正月の食文化として定着しています。ある講演会で日本を代表する和食のシェフが、「元旦の朝、国民のほとんどがほぼ同じ時間に同じメニューの食事をする、このような文化を持つ国は他にない」と語っておられました。

なぜお雑煮がお正月の朝の食卓メニューになったのかを調べてみますと、餅が新しい年を迎えるにあたって神様にお供えするものであったことに由来するようです。神様にお供えした餅のおさがりを皆でいただき、豊作や健康、家内安全を祈願しました。また室町時代には武家の宴において一番最初に食べる縁起のいい料理として提供され、そこから縁起がいいということで、年の始め、すなわちお正月の朝一番に食べるようになったとも言われています。お雑煮という言葉の由来は、いろいろなものを混ぜて食べる煮雑(にませ)からきていて、そこに神様のおさがりのお餅も入れて食べるようになったようです。一口にお雑煮と言っても、地域によってお雑煮に入れる具や餅の形、だしや味付けは随

分と異なります。京都では丸餅に白みそのお雑煮が定番で、具には里芋(小芋)や大根、人参を入れることが多いようです。関東の方ではのし餅を切った角餅におすまし(すまし汁)が多く、具は鶏肉、人参に小松菜やかまぼこなどがよく入れられます。もともとお正月に縁起を担いで食べる料理な訳ですから、餅の形の違いにそれがよく表れています。関西の丸餅は『円満』の意味があり、関東の角餅は『敵をのす』という意味でのし餅を作り、それを切って焼いて入れたのだそうです。京都に生まれ育った者のひいき目かもしれませんが、武家文化を反映した関東のお雑煮はなんだか物騒で、貴族文化発祥の地である関西のお雑煮の方が平和な気がします。このようにお雑煮はその地域の人々の生活や文化を反映しており、作り方が違うのは大変興味深いですね。昔から会話が途切れた時はずれない話題は血液型とお雑煮と言われています。それくらいすべての人に共通した話題で、しかも違いを知ること驚きと新鮮味があるのだと思います。時代や生活環境は変わっていきますが、いつまでも故郷のお雑煮を語り、お正月にはそれを味わえる、そんな世の中であってほしいと思います。

私たち京都きつ川病院職員一同は、新しい令和の時代を迎え、人とのふれあい、やさしさを忘れず、地域の皆様に健康と安らぎを提供すべく一層の努力をしていく所存でございます。本年も何とぞよろしくお願い申し上げます。

# 健康

開催

# ま

# つ

# り



城陽市イメージキャラクター「じょうりんちゃん」来場



さわやかな陽気に恵まれた11月10日(日)、京都きづ川病院では年に一度の恒例行事「健康まつり」を開催しました。地域のみなさんに気軽に病院に足を運んでいただき、健康について考えるきっかけづくりができればと、今年も地域の方々のご協力のもと職員一同一体となっておまつりを盛り上げました。

## 健康測定 血管年齢、骨密度、脳年齢、肌年齢、血圧を測定



人気コーナーには朝からたくさんの来場者



脳年齢測定。実年齢と比べた結果で盛り上がる方々も

## 健康相談 薬、介護、栄養相談のコーナー



測定コーナーの結果を見て栄養指導を受けた方もおられました



骨密度を測定中

## 子どもコーナー ものづくりや、病院の仕事を子どもたちが体験



薬剤師のお仕事を体験



おもちゃを職員の指導で手づくり。たくさん子どもたちで賑わいました

## 城陽警察署 子ども交通教室



白バイ・パトカーに乗っての記念撮影のあと、バルーンアートのプレゼント

## 模擬店 職員手づくりのたこ焼きとポップコーン



## 専門家と一緒に体力アップ リハビリスタッフの指導による楽しく筋力をつける運動



自宅でもできる運動に取り組みました

## 喫茶コーナー



職員がコーヒーや紅茶をサービス

## 城陽警察署+職員によるミニコンサート



当院職員の大水(フルート)、城陽署の大藪さん(サクソ)、職員杉原(ギター)。「銀座の恋の物語」は口ずさみながら楽しむ参加者も

## 京都府立西城陽高等学校合唱部コンサート



## JA京都やましろ農産物直売所城陽店 出張五里五里市



大好評、採れたて野菜の市もやってきました



今年の実行委員

「約400の方にご来場いただきました。お楽しみいただけましたでしょうか。ご協力いただいた地域の皆様と子ども、誠にありがとうございました！」

# 患者様、全職員とともに より安全な医療の現場を目指す

## すまいる レポート

啓信会グループ  
関連施設



### 医療安全管理室 (京都きづ川病院内)

京都きづ川病院では、常に安全で質の高い医療を提供することを目指し、全職員で努力を重ねています。その中心となっているのが医療安全管理室で、院内の安全にかかわる情報収集、対策検討、啓発など幅広い安全活動に取り組んでいます。

#### 組織で取り組む安全対策の中心

医療安全管理室は、室長の院長をはじめとし専従の安全管理者1名を含む7名で構成されています。管理室を中心として、院内の各部門に医療安全管理委員を配置、さらに各診療科と各フロア、コメディカルの各部門にリスクマネージャーを置いて、病院全体が連携して組織的に安全対策に取り組めるよう体制をつくっています。

#### 多岐にわたる活動

毎日行っているのは現場からの情報収集です。安全に関して問題があった点はもちろん、いわゆる「ヒヤリ」としたり「ハッと」したこと(インシデント報告)もすべて報告として集めています。報告は日報にして毎日院内で情報共有し、各部署で早急に対策を検討。事例をもとに、病院全体としてシステムのミスに繋がらないためにできることがないか等を管理室で考えていきます。



塚田紀子マネージャー

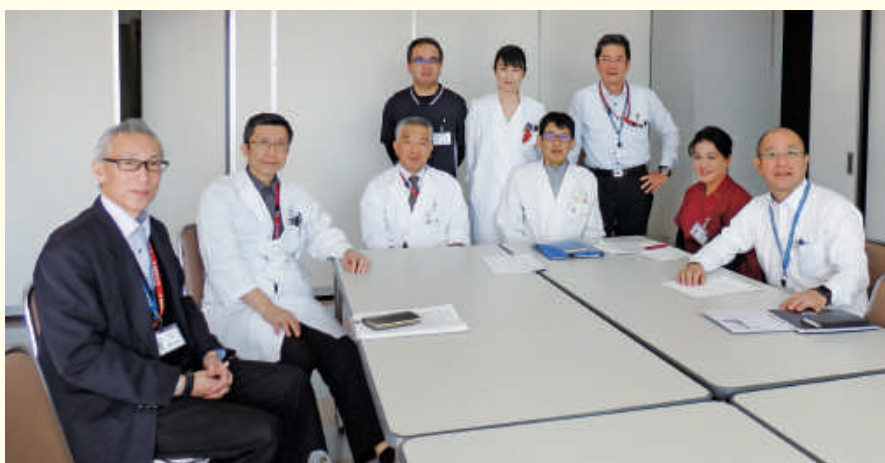
現場職員からのインシデント報告は、毎月管理室が発行している「医療安全ニュース」に掲載して全職員に配布しています。間違いに気がつき報告することは、重大な問題を防ぐことに繋がるので「いいね！報告」と称して評価し、年間で安全推進賞を表彰しています。急変時対応の安全面のチェックや、啓発用の院内掲示、職員講習会の開催、また職場環境の整備などにも配慮。あらゆる院内の安全活動に携わっています。

#### ひとり一人が安全を意識する病院に

専従スタッフの塚田紀子マネージャーは、職員への安全のための研修も定期的に行い、安全意識の徹底を目指しています。「特に新人は現場での仕事だけで、いっぱいになってしまいますが、そのなかで安全への行動を自分のものにしてもらわなくてはなりません。全職員が自分の現場で行動ができるよう支援することを心がけています」と話しています。

また、患者様への協力の呼びかけにも力をいれています。「患者様には医師から与えられ

るだけでなく、医師も職員も、一緒に治療していく仲間だと思つて、納得して医療を受けていただきたいと考えています。そういう意識が安全な医療提供にも繋がります。誤認防止のためお名前を名乗っていたり、病院からお渡しした書類などは、ご自身で確認する癖をつけていただくといったことからご協力をお願いします」。

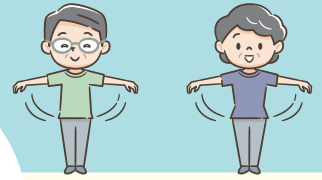


医療安全管理室



# やってみよう！

## 健康体操



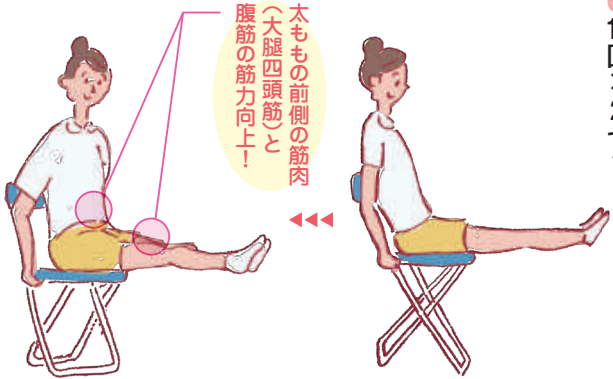
### 簡単筋力トレーニング編②

リハビリテーションセンターがおすすめる健康維持のための運動プログラムを紹介します。今回も椅子を使って行える、ご高齢の方でも比較的取り組みやすい筋力アップ運動3つ。転倒予防、腰痛予防につながるプログラムですので、介護されない体づくりにも役立ちます。

#### 1 両足上げ運動

腰痛予防、立ち上がり時に使う筋肉強化

- 椅子に手をついて座る
- 膝を伸ばして、足を床から浮かせて5秒間保つ
- 10回×2セット



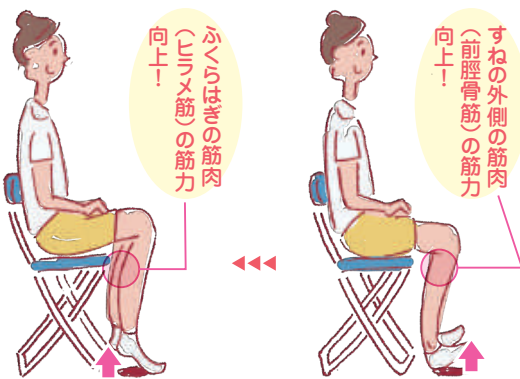
ここがポイント！

きつければ最初は背もたれに背中をつけて、慣れてきたら離していきましょう。背中を離すとより効果はありますが、腰に負担がかかりやすいため、腰痛のある方は無理しないでください。

#### 2 つま先上げ、かかと上げ運動

歩行や階段昇降に有効で、血行も良くする

- つま先を上げて5秒間保つ
- かかとを上げて5秒間保つ
- 各10回×2セット



ここがポイント！

安全で適度に負荷がかかる「5秒間のキープ」が大切です。

#### 3 片足体重かけ運動

立位のふらつきを防ぎ保持できる力をつける

- 立って椅子や手すりを持つ
- 体重を片方の足にかけて5秒間保つ
- 左右交互に10回×2セット



ここがポイント！

片足へしっかり体重をかけましょう。腰だけが横へ動いたり、体が傾き過ぎたりしないように注意。

運動ごとに使っている筋肉を意識することで、筋力増強効果が高まります。初歩的で負荷の少ない運動なので、毎日の習慣として取り入れてみてください。



理学療法士  
リハビリテーションセンター 係長  
北村卓也

きづ川病院  
News

病院内の行事や予定などのお知らせです。  
また、病院のホームページでは、最新の情報を掲載してしますので、  
ぜひご覧ください。

啓信会

ウェブ検索

<http://kyoto-keishinkai.or.jp>



京都きづ川病院

院長 中川 雅生  
TEL.0774-54-1111 FAX.0774-54-1118



啓信会グループ

理事長 中野 博美

医療法人啓信会 介護老人保健施設 **萌木の村**

<城陽市寺田奥山1-6>

施設長 稲葉 栄子

TEL .0774-52-0011

FAX.0774-52-0701

医療法人啓信会 介護老人保健施設 **ひしの里**

<久世郡久御山町佐古内屋敷81-1>

施設長 植村 師子

TEL .0774-43-2626

FAX.0774-43-2627

医療法人啓信会 **きづ川クリニック**

<城陽市平川西六反44>

院長 青谷 裕文

TEL .0774-54-1113

FAX.0774-54-1115

関連施設

- 京都四条診療所 ● 四条健康管理センター

在宅サービス

- 訪問看護ステーション きづ川はろー
- ヘルプーステーション 萌木の村 21
- ヘルプーステーション リエゾン大津
- ヘルプーステーション リエゾン大久保
- ヘルプーステーション リエゾン四条
- ヘルプーステーション リエゾン健康村
- ヘルプーステーション リエゾン羽束師
- デイサービスセンター リエゾン健康村
- デイサービスセンター リエゾン久御山ひしの里
- デイサービスセンター リエゾン羽束師
- デイサービスセンター リエゾン宇治おおくぼ
- 認知症対応型デイサービスセンター リエゾン 萌木の村
- 認知症対応型デイサービスセンター リエゾン久御山ひしの里
- 介護予防デイサービスセンター リエゾン 萌木の村
- 居宅介護支援事業所 リエゾン大津
- 居宅介護支援センター 萌木の村
- 居宅介護支援センター リエゾン四条
- ケアプランセンター リエゾン健康村
- ケアプランセンター リエゾン久御山ひしの里
- ケアプランセンター リエゾン羽束師

- ケアプランセンター リエゾン宇治おおくぼ
- 城陽市在宅介護支援センター 萌木の村

地域密着型サービス

- 小規模多機能ホーム リエゾン萌木の村
- 小規模多機能ホーム リエゾン健康村
- 小規模多機能ホーム リエゾン久御山ひしの里
- 小規模多機能ホーム リエゾン羽束師
- 小規模多機能ホーム リエゾン宇治おおくぼ
- グループホーム リエゾン萌木の村
- グループホーム リエゾンくみやま
- グループホーム リエゾン健康村
- グループホーム リエゾン羽束師
- グループホーム リエゾン宇治おおくぼ

サービス付き高齢者向け住宅

- サービス付き高齢者向け住宅 えがお

教育部門

- ケアスクールリエゾン 大久保校
- ケアスクールリエゾン 大津校



医療法人 啓信会

京都きづ川病院

〒610-0101 城陽市平川西六反 26-1 TEL 0774-54-1111 FAX 0774-54-1119

URL <http://kyoto-keishinkai.or.jp/kizugawa>

